

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

第12回障害フォーラムinとやまのお知らせ

- ◎日時 9月16日(土) 午後1時30分～4時45分
 - ◎会場 富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 1階福祉ホール
 - ◎フォーラムテーマ 「地域共生社会をめざす私たちの取り組み」
 - ◎基調講演 『国連・障害者権利条約の日本政府への勧告と私たちの運動』
講師 白沢 仁 氏(日本障害者協議会(JD)理事)
- シンポジウムにて、本会の中橋道紀が「手話言語法制定をめざして」を発表します。ぜひ見に来てくださいね!!



* * * * *
* * * * *

通訳者の現場力を高めるには・・・

■全国聴覚障害者情報提供施設協議会 意思疎通支援担当者研修会の報告

7月27日(木)・28日(金)の2日間、香川県聴覚障害者福祉センターにて開催。全国より34名集まりました。富山から清水が参加しました。久しぶりに対面で行われた研修会は、たくさん意見交換ができ、有意義な時間を過ごせました。

1日目は、国リハ手話通訳学科教官の江原こう平氏に「通訳者の現場力を高めるために～意思疎通支援者に求められる視点～」と題してお話いただきました。講演後5グループに分かれ、①現場対応力のある通訳者をどう育成すれば良いか、②コーディネーター力を高めるためにどうすれば良いかの2点について話し合いました。それぞれの地域で現任研修をどのように行っているか、報告書のフィードバックはどうしているかなど、地域の差が大きいと感じました。「通訳者を知らない」と適切なアドバイスはできない」と登録通訳者全員の情報をきちんと把握しているコーディネーターもおり、自分の頭の中だけでなく、第三者にも伝えられるような整理をしなくてはならないと感じさせられました。

2日目は、各地域での実践報告の後、グループで意見交換を行いました。通訳者の高齢化や地域的な偏りは全国的な課題。通訳者を増やすためには手話奉仕員養成講習会やその講師が重要になります。目標を明確にするためのロードマップを作成している地域がありました。(清水 歩)

■全国聴覚障害者情報提供施設協議会第2ブロック(北信越)

聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会の報告

7月28日(金)に長野聴覚障害者情報センターにて開催。北信越より5名。富山から菊池が参加。熊本県聴覚障害者情報提供センターの岡康之さんにオンラインを通して、熊本の映像制作の歴史、自主制作番組の企画など「映像制作について」講演いただきました。その後、北信越にて全国大会を開催する場合の各センター映像担当の連携について話し合いました。(菊池 友達)

センター利用の実績 7月21日～8月20日

- 来所者合計 約453名
聴障者約214名、健聴者約239名
- コミュニケーション支援 84件
- ライブラリー貸出 0件 ●相談対応3件
- 部屋貸出 31件

- ★センター運営募金・募集郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者センターを支える会
よろしくお祈いします。